



# まいづる 市議会だより

Maizuru City Council News Letter

No.142

平成27年(2015)  
5月15日

おもな  
内容

3月定例会のあらまし	2
平成27年度予算	2
総合計画・後期実行計画	4
各会派討論の内容	5
代表質問	6
一般質問	9
常任委員会の審査報告	14
各会派討論の内容	16
議案の採決結果	18
意見書、6月定例会予定	20
原子力防災・安全等調査特別委員会の活動	20

- 「交流人口300万人・経済人口10万人」を目指す  
舞鶴市総合計画・後期実行計画(平成27年度～30年度)を可決
- 平成27年度当初予算総額649億9284万円を可決



## 子育て交流施設 オープン!!

市内の子ども達にモデルとしてご協力いただきました。

# 3 月定例会のあらまし

## ●舞鶴市西地区多機能施設条例を可決

市民活動の促進を図るため、舞鶴市西地区多機能施設(西支所隣接の旧京都府立舞鶴勤労者福祉会館)を字南田辺1番地に設置し、これまでの同会館と同様の利用形態で管理運営

## ●新教育委員会制度や病院事業管理者および水道事業管理者を置かないことに係る条例を可決

## ●堤茂副市長の選任および佐藤裕之教育長の任命に同意

◎舞鶴市議会は、3月定例会を2月20日から3月27日までの36日間開催しました。市長提案の総合計画・後期実行計画(4ページ)、平成27年度当初予算、26年度補正予算、条例、人事など53議案を審議の結果、いずれも原案のとおり可決、承認、同意としました。また、議会運営委員会提案の舞鶴市議会委員会条例の改正(市の組織改編に伴う民生環境委員会の所管事項を改めるなど)、議員提案の意見書(20ページ)を可決しました。

## ●平成 27 年度 舞鶴市当初予算可決

■一般会計 360億1556万円 (対前年度比 7億6385万円、2.1%の減)

■特別会計 289億7728万円 (対前年度比 6億9070万円、2.4%の増)

【うち公営企業会計】 38億1259万円 (対前年度比 4023万円、1.0%の減)

■総額 649億9284万円 (対前年度比 7315万円、0.1%の減)

平成27年2月27日の本会議において市長から、平成27年度予算は、国の「地方創生」に係る平成26年度補正予算「地域活性化・地域住民生活等緊急支援のための交付金」を活用した「地方創生先行型事業」「地域消費喚起・生活支援型事業」と連動させ、「舞鶴版地方創生」の実現に向けて、力強くスタートを切るための予算編成を行ったこと。

平成27年度の一般会計予算額は360億1556万円、公営企業会計を含む特別会計予算額の合計は289億7728万円となり、一般会計と特別会計を合わせた額は649億9284万円となること。

また、「心豊かに暮らせるまちづくり」「安心のまちづくり」「活力あるまちづくり」の3つの重点事項に係る施策の概要についての

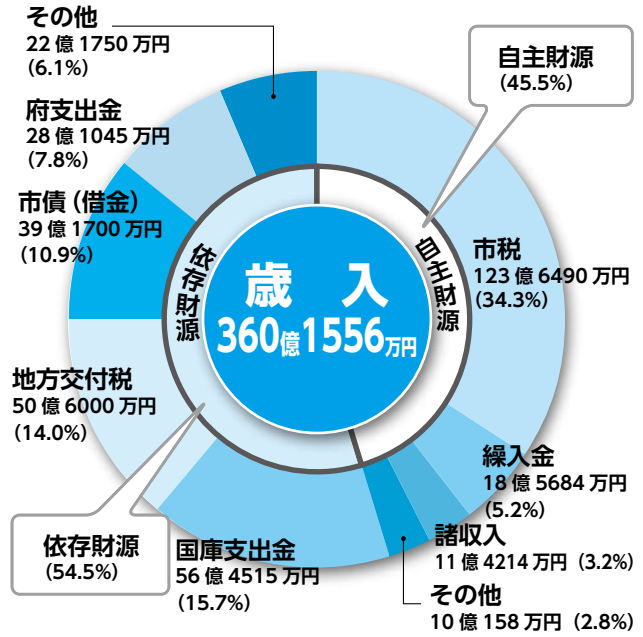
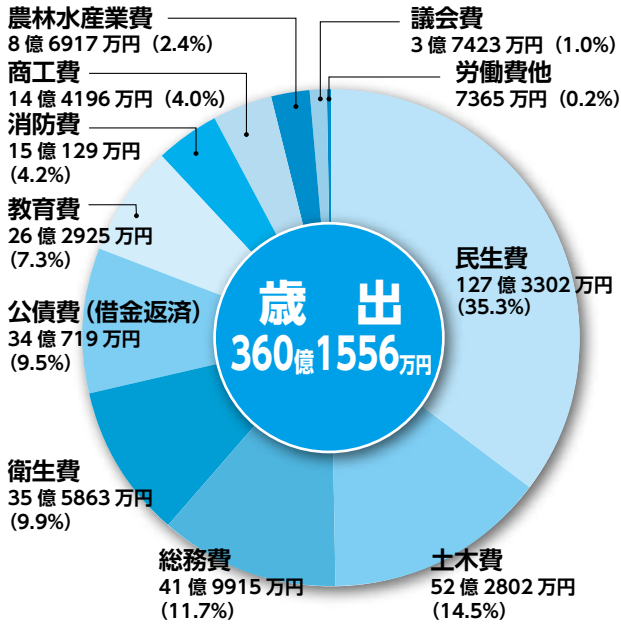
説明も受けました。最終本会議で審議した結果、平成27年度一般会計、病院事業会計、国民健康保険事業会計、介護保険事業会計の4件の予算は賛成多数、それ以外の予算は全員賛成で可決しました。

●平成26年度一般会計補正予算4億2696万円を可決

平成27年2月27日の



## 一般会計予算



### まちづくりに係る主な事業

#### ●心豊かに暮らせるまちづくり

(新規) 子育て交流施設管理運営経費	2824万円
(拡大) 夢チャレンジサポート事業 (学習サポーターの配置など)	2524万円
(新規) 公共交通利用環境改善事業費補助 (公的病院前バス停整備への支援)	500万円
(新規) 田舎の魅力体感推進事業 (田舎体験プログラムの開発など)	435万円
(新規) 海外引揚70周年記念事業	1150万円

#### ●安心のまちづくり

(継続) 舞鶴市休日急病診療所整備事業	9603万円
(拡大) 介護人材確保支援事業	4941万円
(拡大) がん検診事業	7646万円
(拡大) 河川整備事業(うち西地区浸水対策分)	4513万円
(継続) 下水道管布設事業	11億3030万円

#### ●活力あるまちづくり

(新規) 地方創生拠点整備事業	1171万円
(新規) 全国高校総体(レスリング競技)開催費負担	710万円
(継続) 幹線道路整備事業 (市道引土境谷線・和泉通線)	6億3400万円
(拡大) 企業誘致実現プロジェクト事業	4760万円
(新規) 加佐地区農業・農村活性化戦略事業	850万円

- 消費喚起・生活支援事業  
(プレミアム付商品券発行事業など)  
1億5500万円
- 原子力災害対策施設  
資機材等整備事業および  
同施設緊急整備事業(大浦会館)  
1億2300万円
- 道(道の駅観光戦略拠点化事業など)  
9050万円

- 地方創生先行型  
推進事業
- 【主な事業】

方創生先行型推進事業、消費喚起・生活支援事業のほか、大浦会館を原子力災害時屋内避難施設として整備する事業など4億2696万円の増額を行い、結果一般会計予算総額は384億5848万円となるなどの説明を受け、3月27日の最終本会議で審議した結果、賛成多数で可決しました。

### 特別会計予算

会計区分	27年度	26年度	伸び率
国民健康保険事業会計	103億8389万円	91億2250万円	13.8%
簡易水道事業会計	9億5476万円	6億8430万円	39.5%
土地建物造成事業会計	398万円	448万円	-11.2%
貯木事業会計	101万円	101万円	0.0%
下水道事業会計	47億2884万円	47億8034万円	-1.1%
駐車場事業会計	4667万円	4534万円	2.9%
介護保険事業会計	78億5727万円	86億5913万円	-9.3%
保険事業勘定	78億5127万円	86億5323万円	-9.3%
介護サービス事業勘定	600万円	590万円	1.7%
後期高齢者医療事業会計	11億8827万円	11億3666万円	4.5%
公営企業会計	38億1259万円	38億5282万円	-1.0%
水道事業会計	28億1476万円	27億4108万円	2.7%
病院事業会計	9億9783万円	11億1174万円	-10.2%
合計	289億7728万円	282億8658万円	2.4%

## 「交流人口300万人・経済人口10万人」を目指す総合計画・後期実行計画

平成27年2月27日の本会議で、総合計画・後期実行計画に係る議案「基本構想を実現するための実行計画の策定」を賛成多数で可決しました。

平成27年度から平成30年度までの舞鶴市総合計画・後期実行計画では、総合計画・基本構想の実現に向けて、「心豊かに暮らせるまちづくり」「安心のまちづくり」「活力あるまちづくり」をまちづくりの重点事項とし、市民・地域が一体となって目指す目標『「交流人口300万人・経済人口10万人」都市・舞鶴』を掲げています。

舞鶴市が有する地域の魅力・特性を最大限に生かし、豊かな自然の中で、心豊かに暮らすために必要な、子育てしやすい環境の整備、都会並みのレベルの高い教育、医療の充実、福祉、防災、文化、芸術、スポーツ等の環境の充実を図り、雇用拡大、産業振興、観光振興等の推進による定住と交流促進につながる多様な施策を結集し、地域一丸となって「住んでよし、働いてよし、訪れてよしの『選ばれるまちづくり』」を推し進め、『「交流人口300万人・経済人口10万人」都市・舞鶴』を実現することを最重点事項としています。



### 第1編『まちづくり戦略』は、次の3章で構成

**第1章 「まちの安定的成長戦略」**では、市民の定住意欲に応え、暮らしの満足度を高めるため、働く場の創出・確保の基礎である本市産業経済の安定的成長を推進するとともに、市民生活と産業経済活動の舞台である都市空間が快適で利便性の高いものになるよう整備を進めるとしています。

**第2章 「みんなで支え合う地域づくり戦略」**では、これからの時代にふさわしい家庭や家族、地域におけるコミュニティの形成を目指すとともに、自助・共助・公助の連携とその補完を強化し、市民が安心して暮らせる生活環境を創造するとしています。

**第3章 「次代を担う人材の育成戦略」**では、次なる新しい時代を拓き担っていく人材を育成するため、子どもの発達段階や個性を尊重した育成・教育環境づくりを進めるとともに、育成に携わるおとなもまた、常に学び続けられるよう、その環境づくりに取り組み、また、そのため経験豊かな高齢者の知恵や地域、企業等の人材活用を図り、地域社会全体で人づくりに取り組むとしています。

### 第2編『まちづくり戦略を推進するための共通方策』は、

上記3つのまちづくり戦略の推進によって「子どもからお年寄りまで安心して暮らせるまち・舞鶴」の実現を図るため、それら全体の進捗を管理しながら、職員、施設、資金、情報など市が有する行政資源の最適で有効な活用を図るとしています。

### 1 総合計画・後期実行計画の素案を調査

平成26年12月、舞鶴市議会は、舞鶴市総合計画・後期実行計画に関する事項を調査するため、「新たな舞鶴市総合計画・後期実行計画に関する調査特別委員会」（正副議長を除く26人で構成）を設置しました。

平成27年1月には、同調査特別委員会の後期実行計画（素案）に対して、介護人材の確保や健康・体力に関することなど60件の意見をまとめて、それを議長から市長に提出しました。

### 2 総合計画・後期実行計画に係る議案を審査

平成27年2月20日の本会議において市長から、舞鶴市総合計画・後期実行計画に係る議案「基本構想を実現するための実行計画の策定」について、「住んでよし、

働いてよし、訪れてよしの『選ばれるまちづくり』の実現に向け、「心豊かに暮らせるまちづくり」をまちづくりの最重点事項に位置付け、市民・地域が一体となって目指す数値目標「交流人口300万人・経済人口10万人」都市・舞鶴を掲げ、策定した計画であるとの説明を受け、市議会では、その議案を審査するため、「基本構想を実現するための実行計画審査特別委員会」（正副議長を除く26人で構成）を設置しました。

同月23日、25日に同審査特別委員会を開催し、先の後期実行計画素案に対する意見60件に対し、介護人材の確保など10点の変更を行ったことなどの説明を受け、審査を行い、27日の本会議で審議した結果、「基本構想を実現するための実行計画の策定」を賛成多数で可決しました。

2月27日の本会議において、提案された議案に対して各党派が討論をしました。

討 論

討 論

住民福祉の向上を目指す  
本来の役割発揮を



日本共産党議員団  
伊田悦子

地方自治体には、国の悪政を持ち込まず、暮らし・福祉・子育てを守る「防波堤」の役割がある。その上で検証、提案を行った。

原発に関して、新增設、再稼働の同意権のある安全協定の締結を目指すことを盛り込む。市内医療機関は大きく後退。市が命と健康を守る公的責任を果たすべき。救急医療の充実、一人診療科の解消。人工透析治療施設設置やへき地医療の充実などを盛り込むべき。行政が教育に果たす責任は、

条件整備でどの子も伸びる教育の実現。そのための教員増員を追加。数値目標は根本的な問題解決にならないことから削除。これら意見表明したが取り入れられず反対。

実行計画の策定で  
地域の活性化を



創政クラブ議員団  
谷川眞司

この後期実行計画は基本構想に沿ったものであり、またしっかりと、将来を見据えたものと理解する。実行に当たっての目標数値も適切に設定をされ、分かりやすいものとなっている。目標数値の達成に向けて、最大限の努力をお願いする。今、東京一極集中が続く中、国会においても地方創生に力を入れてい

る。本市の特性を生かし、本市にあった、プログラムを吟味、選択をし、後期実行計画と併せ、国や他市を先取りした、舞鶴版の地方創生を図り、舞鶴市の活性化に向けさらなる努力を期待し、賛成の討論とする。

住んでよしの  
まちづくりを



公明党議員団  
松田弘幸

そのためのおもてなしも重要とされている。また、女性が住み続けたいと思えるまちが重要と感じる。女性の方々は、子どもが伸び伸びと安心・安全に過ごせるかが重要であり、実行計画には、そのことが十分に入っていると考える。今後も、市民の皆様のご意見をお聞きし、実行計画が計画通りに遂行されるようお願いする。

公明党議員団を代表し、賛成の立場で意見要望をする。京都舞鶴港の発展は、舞鶴市の今後を大きく左右すると感じている。物流やクルーズ客船の寄港回数の増加を目標とされており、旅客の皆さまが舞鶴市内を周遊していただくことは大きな経済効果をもたらす

今定例会に上程された第3号議案に賛成するための実行計画の策定については、新たな舞鶴市総合計画に関する議案であり、これま

議会、市民が  
一体となって



輝進クラブ議員団  
鯛 慶一

この目標達成のために、議会、市民が一体となって着実に実行され、「住んでよし、働いてよし、訪れてよしの選ばれるまちづくり」の実現に向け、交流人口300万人・経済人口10万人都市・舞鶴を実現できるよう要望し、賛成討論とする。

で調査特別委員会を設置し、各分科会において、各委員から多くの意見が出された。その意見を精査・集約され、半数を超える意見に対しては追加、変更していただいたと認識している。

今回の調査特別委員会に設置し、各分科会において、各委員から多くの意見が出された。その意見を精査・集約され、半数を超える意見に対しては追加、変更していただいたと認識している。

行政と市民が一体で  
新しいまちづくり



新政クラブ議員団  
福村暉史

期実行計画」は、平成26年度までの前期実行計画の実績や、本市を取り巻く社会経済環境の変化を踏まえ、基本構想を実現するための各種施策や達成目標を定めたものである。各論においては、各舞鶴港の活用、一次産業の強化、定住・移住の促進、赤れんが・海・港の開発、空き家対策、防災・危機管理の強化、子育て支援の充実、幼児教育強化、保幼小中の連携、いわゆる0歳から15歳までのシームレスな教育環境の整備などの分野において、さまざまな施策が盛り込まれており評価する。市民と行政が一体となり、推進されるよう要望する。

今回策定する「新たな舞鶴市総合計画」後



平成27年3月9日、本会議を開き、6人の議員が代表質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

代表質問

平成27年 舞鶴市議会3月定例会代表質問

平成 27 年 3 月 9 日

順番	質問方式	会派名及び氏名	質問事項
1	一括	鶴翔会議員団 松岡 茂長	1 高浜原発の再稼働について
			2 医療問題について
2	一括	公明党議員団 上羽 和幸	1 地方創生について
			2 原子力安全協定について
			3 空き家対策特別措置法について
			4 市内公営住宅の建設状況について
3	一括	輝進クラブ議員団 鯛 慶一	1 市政運営について
			2 地域医療について
4	一括	新政クラブ議員団 上野 修身	1 平成 27 年度施政方針について
5	一問一答	日本共産党議員団 後野 和史	1 市長選挙の結果について
			2 安倍政権の集団的自衛権行使容認の具体化について
			3 原発ゼロ社会の実現で市民のいのちと安全を守ることに
			4 地域医療について
			5 国のめざす地方創生について
6	2分割	創政クラブ議員団 高橋 秀策	1 平成 27 年度の市政運営について
			2 交流拠点の開発・整備について
			3 西地区のまちづくりについて
			4 総合治水対策について
			5 医療問題について
			6 学力向上について
			7 生活困窮者自立相談支援事業について

※質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。

代表質問

原発再稼働前に  
市民への説明を

**質問** 原発再稼働が迫る中、再稼働の前に事前説明をし、市民の不安解消に努めてほしいとの要望が相次いでいる。市民の安心・安全のために、国や関西電力に任せるようなことをせずに、市長自らが市民に直接説明する考えはないか。また、避難対策は課題が山積だが、市長は実効性ある避難計画が整わない状況下でも、再稼働を容認するのか。

**答弁** 京都府と足並みをそろえながら、国および原子力規制委員会に丁寧な説明を求めているところだ。また避難計画は、より実効性あるものとなるよう現在作業を進めている。

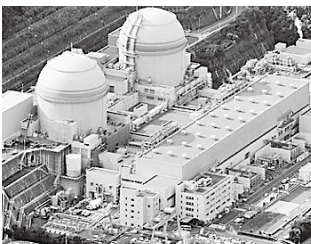


鶴翔会議員団  
松岡 茂長

舞鶴に「総合病院」を

**質問** 舞鶴市の医療の将来を見た場合、市民のためにしっかりとした総合病院がやはり必要だ。医療崩壊の危機を乗り越えるため、いま全国的にも病院の統合が進んでいる。市長の見解を問う。

**答弁** 舞鶴市で統合を強行すると、地域医療自体が崩壊しかねない。四つを一つの総合病院のように機能させていくことが重要だ。



再稼働前に市民への事前説明を

※一問一答…全ての質問項目を一括して質問するのではなく、一問ごとに質問し、その都度、答弁を求める質問の方式  
 ※一括…全ての質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式  
 ※分割…全ての質問項目を分割し、分割した区分ごとに一括して質問し、その区分ごとに一括して答弁を求める質問の方式

## 立地自治体に準じた安全協定を評価



公明党議員団  
上羽 和幸

**質問** 2月27日に舞鶴市と京都府で関西電力に対し、求めてきた新たな協定が締結された。①この協定は立地自体と違いがあるか②原発の再稼働に対する同意権をどのように捉えているか③立地自治体並みの交付金を国に求めているいただきたいが、市長の見解を聞く。

**質問** 舞鶴市と京都府で関西電力に対し、求めてきた新たな協定が締結された。①この協定は立地自体と違いがあるか②原発の再稼働に対する同意権をどのように捉えているか③立地自治体並みの交付金を国に求めているいただきたいが、市長の見解を聞く。

**質問** 舞鶴市と京都府で関西電力に対し、求めてきた新たな協定が締結された。①この協定は立地自体と違いがあるか②原発の再稼働に対する同意権をどのように捉えているか③立地自治体並みの交付金を国に求めているいただきたいが、市長の見解を聞く。

**質問** 舞鶴市と京都府で関西電力に対し、求めてきた新たな協定が締結された。①この協定は立地自体と違いがあるか②原発の再稼働に対する同意権をどのように捉えているか③立地自治体並みの交付金を国に求めているいただきたいが、市長の見解を聞く。

**質問** 舞鶴市と京都府で関西電力に対し、求めてきた新たな協定が締結された。①この協定は立地自体と違いがあるか②原発の再稼働に対する同意権をどのように捉えているか③立地自治体並みの交付金を国に求めているいただきたいが、市長の見解を聞く。

**質問** 舞鶴市と京都府で関西電力に対し、求めてきた新たな協定が締結された。①この協定は立地自体と違いがあるか②原発の再稼働に対する同意権をどのように捉えているか③立地自治体並みの交付金を国に求めているいただきたいが、市長の見解を聞く。

**質問** 舞鶴市と京都府で関西電力に対し、求めてきた新たな協定が締結された。①この協定は立地自体と違いがあるか②原発の再稼働に対する同意権をどのように捉えているか③立地自治体並みの交付金を国に求めているいただきたいが、市長の見解を聞く。

**質問** 舞鶴市と京都府で関西電力に対し、求めてきた新たな協定が締結された。①この協定は立地自体と違いがあるか②原発の再稼働に対する同意権をどのように捉えているか③立地自治体並みの交付金を国に求めているいただきたいが、市長の見解を聞く。

年空き家対策特別措置法が成立した。これにより行政が調査、指導から行政代執行までできることとなったが、舞鶴市の空き家状況と計画の策定や措置の実施について聞く。

**質問** 舞鶴市の空き家状況と計画の策定や措置の実施について聞く。

**質問** 舞鶴市の空き家状況と計画の策定や措置の実施について聞く。

**質問** 舞鶴市の空き家状況と計画の策定や措置の実施について聞く。

**質問** 舞鶴市の空き家状況と計画の策定や措置の実施について聞く。

**質問** 舞鶴市の空き家状況と計画の策定や措置の実施について聞く。

**質問** 舞鶴市の空き家状況と計画の策定や措置の実施について聞く。

**質問** 舞鶴市の空き家状況と計画の策定や措置の実施について聞く。

**質問** 舞鶴市の空き家状況と計画の策定や措置の実施について聞く。

**質問** 舞鶴市の空き家状況と計画の策定や措置の実施について聞く。



増え続ける空き家

## 大きく変わる舞鶴の医療環境



輝進クラブ議員団  
鯛 慶一

**質問** 医師確保について伺う。舞鶴市の病院問題で一番の課題となっている医師確保の推進について、各病院の特徴的な機能の充実を生かした魅力的な環境づくりとともに、市全体として不足する診療科の医師確保に向け、京都府立医科大学から全面的な支援が述べられ、医師確保の条件が整いつつあるが、今後の見通しを伺う。

**質問** 医師確保について伺う。舞鶴市の病院問題で一番の課題となっている医師確保の推進について、各病院の特徴的な機能の充実を生かした魅力的な環境づくりとともに、市全体として不足する診療科の医師確保に向け、京都府立医科大学から全面的な支援が述べられ、医師確保の条件が整いつつあるが、今後の見通しを伺う。

**質問** 医師確保について伺う。舞鶴市の病院問題で一番の課題となっている医師確保の推進について、各病院の特徴的な機能の充実を生かした魅力的な環境づくりとともに、市全体として不足する診療科の医師確保に向け、京都府立医科大学から全面的な支援が述べられ、医師確保の条件が整いつつあるが、今後の見通しを伺う。

**質問** 医師確保について伺う。舞鶴市の病院問題で一番の課題となっている医師確保の推進について、各病院の特徴的な機能の充実を生かした魅力的な環境づくりとともに、市全体として不足する診療科の医師確保に向け、京都府立医科大学から全面的な支援が述べられ、医師確保の条件が整いつつあるが、今後の見通しを伺う。

**質問** 医師確保について伺う。舞鶴市の病院問題で一番の課題となっている医師確保の推進について、各病院の特徴的な機能の充実を生かした魅力的な環境づくりとともに、市全体として不足する診療科の医師確保に向け、京都府立医科大学から全面的な支援が述べられ、医師確保の条件が整いつつあるが、今後の見通しを伺う。

**質問** 医師確保について伺う。舞鶴市の病院問題で一番の課題となっている医師確保の推進について、各病院の特徴的な機能の充実を生かした魅力的な環境づくりとともに、市全体として不足する診療科の医師確保に向け、京都府立医科大学から全面的な支援が述べられ、医師確保の条件が整いつつあるが、今後の見通しを伺う。

**質問** 医師確保について伺う。舞鶴市の病院問題で一番の課題となっている医師確保の推進について、各病院の特徴的な機能の充実を生かした魅力的な環境づくりとともに、市全体として不足する診療科の医師確保に向け、京都府立医科大学から全面的な支援が述べられ、医師確保の条件が整いつつあるが、今後の見通しを伺う。



地域医療の充実を

高速道路の全線開通やJR特急の増便など医師にとって魅力ある環境が一段と整う。また、京都府立医大との連携により公的4病院全てが同大学の関連病院となり、全面的な支援を受け、今後若手医師が北部地域へ毎年配置され、舞鶴全体で医師確保が進む。地域医療が充実し特定の診療科などの医師確保につながる大学との新たな仕組みづくりの具体化にも取り組む、京都府や京都府立医大との連携で本市地域医療の充実を図る。

## 国際フェリー就航の進捗状況は



新政クラブ議員団  
上野 修身

**質問** 国際フェリーは、京都舞鶴港が日本海側拠点港に選定された際に掲げた三つの機能の一つで京都舞鶴港にとって、また府北部地域にとっても地域経済発展の大きなきっかけとなる。国際フェリー就航に関する具体的な進捗状況、今後の見通しを問う。

**質問** 国際フェリーは、京都舞鶴港が日本海側拠点港に選定された際に掲げた三つの機能の一つで京都舞鶴港にとって、また府北部地域にとっても地域経済発展の大きなきっかけとなる。国際フェリー就航に関する具体的な進捗状況、今後の見通しを問う。

**質問** 国際フェリーは、京都舞鶴港が日本海側拠点港に選定された際に掲げた三つの機能の一つで京都舞鶴港にとって、また府北部地域にとっても地域経済発展の大きなきっかけとなる。国際フェリー就航に関する具体的な進捗状況、今後の見通しを問う。

**質問** 国際フェリーは、京都舞鶴港が日本海側拠点港に選定された際に掲げた三つの機能の一つで京都舞鶴港にとって、また府北部地域にとっても地域経済発展の大きなきっかけとなる。国際フェリー就航に関する具体的な進捗状況、今後の見通しを問う。

**質問** 国際フェリーは、京都舞鶴港が日本海側拠点港に選定された際に掲げた三つの機能の一つで京都舞鶴港にとって、また府北部地域にとっても地域経済発展の大きなきっかけとなる。国際フェリー就航に関する具体的な進捗状況、今後の見通しを問う。

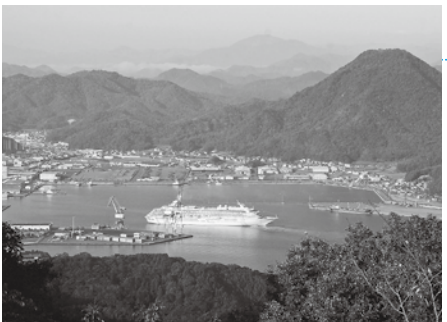
**質問** 国際フェリーは、京都舞鶴港が日本海側拠点港に選定された際に掲げた三つの機能の一つで京都舞鶴港にとって、また府北部地域にとっても地域経済発展の大きなきっかけとなる。国際フェリー就航に関する具体的な進捗状況、今後の見通しを問う。

**質問** 国際フェリーは、京都舞鶴港が日本海側拠点港に選定された際に掲げた三つの機能の一つで京都舞鶴港にとって、また府北部地域にとっても地域経済発展の大きなきっかけとなる。国際フェリー就航に関する具体的な進捗状況、今後の見通しを問う。

**質問** 国際フェリーは、京都舞鶴港が日本海側拠点港に選定された際に掲げた三つの機能の一つで京都舞鶴港にとって、また府北部地域にとっても地域経済発展の大きなきっかけとなる。国際フェリー就航に関する具体的な進捗状況、今後の見通しを問う。

**質問** 国際フェリーは、京都舞鶴港が日本海側拠点港に選定された際に掲げた三つの機能の一つで京都舞鶴港にとって、また府北部地域にとっても地域経済発展の大きなきっかけとなる。国際フェリー就航に関する具体的な進捗状況、今後の見通しを問う。

**質問** 国際フェリーは、京都舞鶴港が日本海側拠点港に選定された際に掲げた三つの機能の一つで京都舞鶴港にとって、また府北部地域にとっても地域経済発展の大きなきっかけとなる。国際フェリー就航に関する具体的な進捗状況、今後の見通しを問う。



フェリーが行き交う京都舞鶴港

ことで合意した。フェリー航路の定着・安定には貨物と旅客の双方の確保が重要である。京都舞鶴港振興会を中心に京都府と連携しながらターゲットである京都南部、中京圏へのポートセールスを図ってきた。現在京都府において西港第2ふ頭に旅客ターミナルを建設している。オール京都でのおもてなし態勢を整える。

平成27年3月9日、本会議を開き、6人の議員が代表質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

### 代表質問

#### 安全協定は再稼働の同意権が全くない



日本共産党議員団  
後野和史

**質問** 市民全員を避難させる避難計画が未確立のもと、国に再稼働するなど申し入れよ。関西電力との安全協定は、事故で停止した後

の再稼働への質問権と回答義務で、今回の3・4号機の再稼働は対象外であり、市長の姿勢の後退ではないか。

**答弁** 一気に逃げる想定はしていない。再稼働までに、避難計画が一定できることがあるべき姿で、申し入れるまでもない。私が言ってきた立地自治体に準じた内容は盛り込まれている。

**医師確保してこそ充実では**

**質問** 医療機能のセンター化で地域医療が充実・強化されてきたというが、医師確保ができないものと、地域医

療が充実したとはいえないが、どうか。呼吸器科は綾部市立病院で北部の呼吸器の患者全てが適用されるのか。

**答弁** 各病院が得意分野の救急医療、高度医療のセンター化で、専門医にとって魅力ある病院となり、若手医師の確保につながる。専門分野は一定の所に集めないと、患者が集まらず医師はこない。



市民が参加した避難訓練の様子

#### 学力日本一を目指そう



創政クラブ議員団  
高橋秀策

**質問** 現在、小中一貫教育を導入する1130校のうち、約9割が学力向上や不登校の減少などに効果があったと回答しており、小中一貫教育は、本市の学力向上にとって有効な手段の一つであると、大いに期待しているところである。その方向性についてお尋ねする。

**答弁** 市小中一貫教育在り方検討会議の提言を受け基本方針を策定し、これに沿って導入に向けた準備を進める予定にしている。

現在、小中一貫教育を導入する1130校のうち、約9割が学力向上や不登校の減少などに効果があったと回答しており、小中一貫教育は、本市の学力向上にとって有効な手段の一つであると、大いに期待しているところである。その方向性についてお尋ねする。

#### 夢講演会

**質問** 市内外で活躍している人々から、夢や目標を持つことの意義や人生の重みのある話を聴くことは、将来の夢を考える機会として大変重要である。またそのことがやる気を生み学力向上につながる。実施状況や来年度の取り組みを尋ねる。

**答弁** 企業経営者、スポーツ選手、医療関係者、自衛隊、保安学校などの方の熱い思いをお話ししていただき、目標に向かって努力することの意義について学ぶことができた。今後とも夢講演会の充実を努めていきたい。



アテネ五輪代表 山口選手の夢講演会

#### 一般質問

#### 国保料の引き下げで市民の命暮らし守れ



日本共産党議員団  
小杉悦子

**質問** 平成27年度国民健康保険料は、国の財政支援金で、保険料据え置きを提案である。財政支援の目的と影響額、負担割合はどのようになっているのか。

**答弁** 財政基盤の強化として、約1億円を見込んでおり、国が2分の1、府と市が4分の1となっている。万円の一般会計からの法定外繰り入れをすることになり、「法定外の繰り入れは、極力避けるべき」という市の方針も変更し、保険料の引き下げをすべきと考えるがいかがか。

**答弁** 法定外繰り入れは、基金造成時に一定の繰り入れを行い、基金を活用し激変緩和策を講じて事業を運営してきたところである。

**質問** 国の財政支援は、国保の都道府県化の地ならしと考える。国保の課題が解消されない都道府県化に市はキツパリ反対を表明すべきではないか。

**答弁** 制度改正案は国保制度を堅持し、持続可能なものとしていくために示されたものと考えている。



保険料の引き下げを



平成27年3月10日、11日 本会議を開き、14人の議員が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

一般質問

平成27年 舞鶴市議会3月定例会一般質問

平成27年3月10日、11日

順番	質問方式	氏名	質問事項
1	一問一答	小杉 悦子	1 国民健康保険について
			2 京都府老人医療助成制度について
			3 介護保険について
			4 農業問題について
2	一問一答	松田 弘幸	1 高齢者福祉について
			2 次代を担う子供の安心・安全について
3	一括	西村 正之	1 かんぼの宿・舞鶴について
			2 観光のまちづくりについて
			3 図書館について
4	一括	眞下 隆史	1 地域における若者の「人財育成」について
			2 育成した人材が活躍する企業等への支援について
			3 幼児教育と保育の質の向上について
			4 消防団審議会の答申について
5	一括	谷川 眞司	1 地元業者の育成について
			2 平成27年度の保育について
			3 うみべのもり保育所について
6	一問一答	亀井 敏郎	1 定住促進と地域振興について
			2 地域の公共交通について
7	一括	石束 悦子	1 通院、買い物に便利な周辺地域の交通網について
			2 給食の問題について
			3 安全な通学路について
8	一括	小谷 繁雄	1 西地区における総合治水対策について
			2 小・中学生の読書活動について
			3 地方再生に向けた舞鶴市の取り組みについて
9	一括	今西 克己	1 職員団体の活動について
			2 交通の利便性向上について
			3 高齢者外出支援について
10	一括	伊藤 清美	1 ため池について
			2 市道和泉通線について
11	一問一答	伊田 悦子	1 子育て支援について
			2 定住促進のための住宅対策について
			3 雇用対策と地域経済について
12	一括	杉島 久敏	1 特定健康診査について
			2 胃がん検診について
			3 地域医療について
			4 高齢者犯罪被害防止対策について
13	一括	肝付 隆治	1 地方創生について
			2 引揚記念館収蔵資料の世界記憶遺産登録について
14	一括	林 三弘	1 本市農業の今後について
			2 学校教育について
			3 消防団活動について

\*質問事項のうち各議員が記述の主な質問・答弁の要旨以外の事項は、ホームページをご覧ください。

高齢者福祉の  
充実を

質問

舞鶴市老人クラブ連合会の日常的な事務処理が重要であり、兼務の職員を置くなどの支援の考えはないか。また、65歳以上の高齢者が介護支援に関わるボランティア活動を行った際に、活動実績に応じて評価ポイントを付与し、換金する「介護ボランティアポイント制度」の導入の考えはないか。

答弁

これまでから事務支援などの協力をしており、事務局への人員配置はしない。また、ポイント制度の導入は、介護予防施策全体の中で研究していく。

子どもの安全・安心を

質問

交通事故や犯罪から、子どもたちの安全・安心を確保するため、通学路や学校内



公明党議員団  
松田 弘幸

の不審者対策に、赤外線センサーを含む外部侵入を検知するセンサーの取り付けや防犯カメラの設置の考えはないか。

答弁

子どもたちの安全・安心な通学路の確保は、自治会、保護者、ボランティアの方々の協力を得ながら努めていく。校内の対応には、多くの人的配置が必要で困難である。



通学路の安全対策を

\*一問一答…全ての質問項目を一括して質問するのではなく、一問ごとに質問し、その都度、答弁を求める質問の方式  
 \*一括…全ての質問項目を一括して質問した後、一括して答弁を求める質問の方式  
 \*分割…全ての質問項目を分割し、分割した区分ごとに一括して質問し、その区分ごとに一括して答弁を求める質問の方式

平成27年3月10日、11日 本会議を開き、14人の議員が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

## 一般質問

### かんぼの宿・舞鶴の現在の状況と展望は



輝進クラブ議員団  
西村正之

#### 質問 「かんぼの宿」

舞鶴は、改築工事のため長期休館中となり、その後改築は凍結されたまま今日に至っているが、現在の土地も含めた状況と、凍結されたままの改築計画の今後の展望について問う。

#### 答弁 現在までに、

全国で「かんぼの宿」は、各施設の売却などに向けた調整が進められていると伺っており、その中で、「かんぼの宿」舞鶴跡地については、敷地面積63

67㎡のうち、本市の所有地が5034㎡と大半を占め、日本郵政株式会社所有地は一部である。本市においては、平成19年以降今日まで、



かんぼの宿・舞鶴の跡地

これまでの経過も踏まえ、日本郵政株式会社に対し、所有地のみでなく、跡地の一体的な利活用が図られるよう要請してきたところであり、同社においても、市の意向を踏まえた対応を検討いただいているところである。

今後とも、日本郵政株式会社と密に連携を図りながら、当該跡地の利活用について検討を進めていきたい。

### 舞鶴で働く若者の「人財育成」施策とは



新政クラブ議員団  
眞下隆史

#### 質問 舞鶴の若い世代の就労・結婚・子育てに夢が持てる希望あふれるまちづくり実現のため、働く若者を育成し、定住を促進することが本市にとって活力あるまちづくり、人口減少の歯止め効果的であると考えるが、本市の施策ものづくり「たから者」育成奨学金の現状はどうなのか。

また、本年新設のYMCA国際福祉専門学校への支援策を問う。

#### 答弁 ものづくり「たから者」育成奨学金では、ポリティックカレッジ京都の入学予定者が6

割増になり、全国的に例のない本制度を評価いただき、定住促進に期待している。YMCA国際福祉専門学校の学生にも、奨学金制度の見直し施策で舞鶴に就職・定住の流れを加速させたい。

質問 消防団審議会受注機会の拡大対策を問う。

#### 質問 消防団審議会

の答申報告を受け、今定例会に反映されている内容を問う。

答弁 消防団員の処遇改善を図るため、平成27年度から出動手当の引き上げを行う消防団条例の一部改正について上程している。



開校した舞鶴YMCA国際福祉専門学校

### 地元企業の育成を



創政クラブ議員団  
谷川眞司

#### 質問 地元業者が公共工事を受注すること

は、地域経済の活性化や雇用の創出につながる。そこで、市において地元業者の受注機会の拡大対策を問う。

#### 答弁 公共工事の入札に当たり、施工可能なものは、地元業者への優先発注を基本としており、工種別に分けて発注を行う分離分割方式や、大規模な工事にも、地元業者が参加できるよう、共同企業体方式を採用している。

#### 保育所の跡地活用は

質問 三つの保育所は、非常に使い勝手のよい場所に設置されている。各保育所近隣の市民から、地域での使用ができないかとの声を聞いているが、今後3園をどう活用するかを問う。

#### 答弁 移設後においても、施設の整理などで引き続き使用する予定である。保育所用途を廃止した後の土地活用については、一部借地も含まれていることなどを勘案しつつ、公共施設マネジメントの取り組みを進める中で、地域の意見もよくお聴きし、有効な活用方を検討していきたい。



移設された東保育所

## 専門部課を創設し 効果的な事業推進を

**質問** 急速な人口減少とともに過疎高齢化が進む中、地域振興や定住促進対策が喫緊の課題となっている。こうした事案解決に向けては、さまざまな機関、組織の人材を最大限活用し、創造的なアイデアの提案や実践活動を行うことが大変重要である。併せて市内に専門部課を創設し、さらに効果的な事業を推進すべきと考えますが、市の見解を問う。

**質問** 急速な人口減少とともに過疎高齢化が進む中、地域振興や定住促進対策が喫緊の課題となっている。こうした事案解決に向けては、さまざまな機関、組織の人材を最大限活用し、創造的なアイデアの提案や実践活動を行うことが大変重要である。併せて市内に専門部課を創設し、さらに効果的な事業を推進すべきと考えますが、市の見解を問う。



鶴翔会議員団  
亀井敏郎

**回答** 本格実施に当たり、より一層利用しやすくわかりやすいものに見直すとともに、積極的な啓発や販売促進に努め、高齢者の健康増進や地域経済の活性化につながるよう努めていく。

**質問** 昨年7月1日より高齢者外出支援事業の実証実験が実施されてきた。アンケート

**回答** 従前より関係部課の横連携により効果的に支援を行ってきた。来年度からは、さらに体制強化を図る。

### 満足度の高い支援策を

**質問** 昨年7月1日

より高齢者外出支援事業の実証実験が実施されてきた。アンケート



高齢者外出支援利用しやすい対策を

## 交通網の充実や タクシー代補助増額を



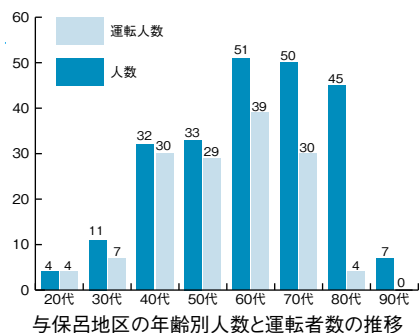
日本共産党議員団  
石束悦子

**質問** 周辺部地域では高齢化が進み、車を運転する人が減り、通院買物など大変になってきている。何とかバスの充実(復活、増便、時間の見直しなど)を考えてもらえないか。

**回答** バス問題は、今後とも交通事業者と連携し、持続的な公共交通体系の維持に努める。75歳以上のタクシー代補助として、4月から3千円以上を「2千円以上」に引き下げる。

**質問** 周辺部地域では高齢化が進み、車を運転する人が減り、通院買物など大変になってきている。何とかバスの充実(復活、増便、時間の見直しなど)を考えてもらえないか。

**回答** バス問題は、今後とも交通事業者と連携し、持続的な公共交通体系の維持に努める。75歳以上のタクシー代補助として、4月から3千円以上を「2千円以上」に引き下げる。



## 中学校も温かい給食を

**質問** 中学校給食が全校に始まり、喜ばれている①しかし、「冷たい」「多い」などの声もあり残食が多いと聞いているその実情は②2700個の弁当を一カ所に任せている。見えないうところでの調理で不安。自校方式や近くの小学校で作るなど計画的に変えていく考えはないかを問う。

**回答** ①残食の調査では、和食が22%、洋食が15%である。②現在の方式はより衛生的で子ども・保護者から評価されている。

**質問** 中学校給食が全校に始まり、喜ばれている①しかし、「冷たい」「多い」などの声もあり残食が多いと聞いているその実情は②2700個の弁当を一カ所に任せている。見えないうところでの調理で不安。自校方式や近くの小学校で作るなど計画的に変えていく考えはないかを問う。

## 西地区における 総合治水対策を



公明党議員団  
小谷繁雄

**質問** 平成25年9月に発生した台風18号による降雨と高潮が、高野川および伊佐津川流域の西市街地に多大な浸水被害をもたらした。今後の整備計画と進捗状況は。また、適切な避難ができるように水位計などの増設による監視を強化できないか。

**回答** 現在、京都府において、高野川については、被害の軽減を図る計画策定が進められており、伊佐津川については、河口部から高砂橋の区間、河床の掘削、護岸の整備、大和橋の架け替えなど現地調査が完了し、地元との協議が進んでいる。監視機材の設置についても、京都府などに要望していく。

**質問** 「読書通帳」の活用を

**質問** 近年、活字離れが指摘される中、子ども達が読書に親しんでもらう取り組みとして、借りてきた本の履歴を見える形で残し、読書意欲を高め、効果もある「読書通帳」の導入を公立図書館において実施できないか。

**回答** 「読書通帳」の活用については、他市の事例などを参考に研究していく。



整備が進められる伊佐津川

平成27年3月10日、11日 本会議を開き、14人の議員が一般質問を行いました。  
質問・答弁の要旨は、次のとおりです。

## 一般質問

### 職員労働団体の活動は

**質問** 昨年12月21日の新聞各紙への折り込みという形で、舞鶴市職員労働組合が、広く舞鶴市民を対象とした第7回市民アンケートを実施されたが、中でも地域医療・イベント・原発の再稼働・集団的自衛権などについて質問があった。

そのアンケートの結果のお知らせが、舞鶴市長選挙告示日を三日後に控えた時期に、非常にネガティブな内容で公表されており、政治的意図を強く感じた。

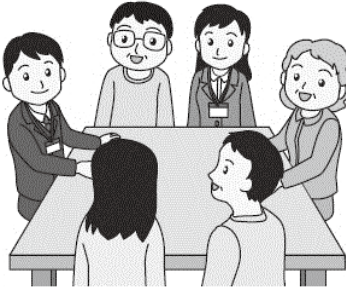
舞鶴市民に誤解を与えかねないものであると認識しており、このことが法に抵触するものかどうか市の見解を問う。また、職員労働組合の組



新政クラブ議員団  
今西 克己

織率について問う。

**答弁** その行為は、直ちに法に抵触するとは考えていないが、実施された時期から市民に誤解を与える活動であった可能性は否定できないものと考えている。また、職員労働組合の加入者数は520人で、組織率は97%、近隣の自治体の福知山市は33%、綾部市は23%と伺っている。



市民参加のまちづくり

### ため池の現状と防災対策はいかに



創政クラブ議員団  
伊藤 清美

**質問** 近年、ゲリラ豪雨が多発している中、減反政策や農業従事者の高齢化により、ため池を利用する農家も減少傾向にある。本市に34力所あるため池の現状と防災対策および今後の利用されなくなつたため池の有効活用について問う。

**答弁** 京都府と連携し、6年に1回点検調査を実施している。今後は、下流域に人家や公共施設が存在するため池は、ハザードマップを作成するとともに、住民の安全確保に努めていく。また、利用

されなくなったため池は住民の意向を基本に対応していきたい。

### 和泉通線の事業概要は

**質問** 市道と和泉通線の事業概要と安全対策および工事期間中の上下水道設備などの影響について問う。

**答弁** 現在、用地測量と建物調査を実施中であり、今後、用地取得と建物の補償を進める。交差点部は一部を拡張して右折レーンを設置し、歩道の安全を図り円滑な交通確保に努める。上下水道などについては市民生活に支障のないよう進める。



本市のため池の現状

### 北部最低の子どもの医療費助成拡充を



日本共産党議員団  
伊田 悦子

**質問** ①子どもの医療費助成が府の制度拡充にあわせ本市も同様拡充。しかし、市独自の拡充が最低。さらなる拡充が必要②新しい制度で入所受付。混乱が予想されるが、来年度の保育所入所状況は③うみべのもり保育所開所を前に給食、看護師配置、徒歩通所の方からは通所方法などの不安の声も。その対応は。

**答弁** ①事業をしっかりと実施。今後他市の状況も見えていく②柔軟に対応し、混乱はない。昨年度と比べ若干減少③給食は自園調理。看護師配置。送迎は公共交通をお願いしたい。

リフォーム助成で定住促進

**質問** 人口減少抑制のため定住促進につながる住宅対策の検討が必要①空き家を活用した定住促進のための住宅対策について②改築をし、定住促進を進める上で住宅リフォーム制度は有効で制度創設が必要。その考え方を問う。

**答弁** ①空き家対策を総合的に進める②経済活性化につながるさまざまな施策を実施。制度創設を考えていない。



新たに開設されたうみべのもり保育所

## 認知症検査の導入を

**質問** 今や社会問題となつている認知症の早期発見を目指し、地域包括ケア推進のもと高齢者が住み慣れた地域で安心・安全に生活をしていただくため、健診項目の一つとして導入するべきではないか。市の考えを問う。

**答弁** 認知症予防への取り組みは大変重要な課題となっており、市としても早期発見・早期支援に努めているところである。判別のためのスクリーニング検査に要する時間などクリアすべき課題が多いため、現状での導入は困難である。

## ピロリ菌感染検査を

**質問** 早期発見・早期治療が提唱されている胃がんの98%はピロリ菌感染による慢性胃



公明党議員団  
杉島久敏

炎の進行と考えられる。尿を用いた非侵襲性の検査によってピロリ菌感染の有無を確認し除菌の動機付けしたいが、市の考えを問う。

**答弁** 国の「がん検診のあり方に関する検討会」でピロリ菌抗体検査の有効性について検討されているところであり、今後、検討結果を踏まえて対応していく。



胃がんの原因とされるピロリ菌

## 地方創生は市民参画での地域再生計画で



創政クラブ議員団  
肝付隆治

**質問** 地方創生の推進においては産業界、住民代表など多様な構成員からなる推進組織を編成し、多岐にわたる事業を一つの地域再生計画として申請することが効率的ではないかと思うが、いかがか。

**答弁** 市民、産業界、教育機関、金融機関など、さまざまな機関団体の参画により、舞鶴版地方創生総合戦略を策定するとともに、事業の推進においては、地域再生計画の策定、地域再生戦略交付金の活用も含めて検討し、地域一丸となつて

推進していく。



舞鶴引揚棧橋

## 世界記憶遺産登録の活用

**質問** 引揚記念館の世界記憶遺産登録は、地域活性の大きな起爆剤にもなりうるものと考えているが、登録された場合の活用について尋ねる。

**答弁** 引き揚げに関する史実を交えた新たな観光を開発し、交流人口と地域消費の拡大による地域経済の発展を目指し、「交流人口300万人・経済人口10万人」都市の実現を図る。

## 荒廃農地の拡大防止に指導強化を



創政クラブ議員団  
林三弘

**質問** 農地の荒廃が深刻な問題となつている。農業者の年齢構成を考慮しても、3年、5年後の姿は明らかである。荒廃を防止し、農村機能を維持していくには集落営農を推進するしかないと考ええる。市が積極的に各集落に入り、集落営農組織の設立に向け、助言や支援を強化すべきと考ええるが、市の対応を問う。

**答弁** 荒廃農地の防止、農村機能の維持については、集落営農が最も有効な手段と考え、27年度から、各集落における組織づくりに向けた研修会などへの支援策を強化していく。

## 消防団へ軽トラックを

**質問** 現在、消防団の小型動力ポンプの移送手段として、手引き

車が配備されているが、実態として個人の軽トラックで火災現場へ出勤しており、万が一の事故に対応することができない状態にある。早急に緊急車両としての軽トラックの配備をすべきと考ええるが、市の考えを問う。

**答弁** 地域事情を考慮しながら、消防団車両の適正配置に努めていく。



本市の荒廃農地の現状

予算決算委員会、  
経済消防委員会の審査報告

本会議において、付託された議案を5常任委員会において、  
審査しました。予算決算委員会（付託議案17件）  
経済消防委員会（付託議案3件）

予算決算委員会

全17件のうち、12件を  
全員賛成、5件を賛成  
多数で可決

平成26年度舞鶴市一  
般会計補正予算では、

地方創生先行型推進事業については、国の交付金を受け、いち早く雇用促進などの九つの分野における地方創生を推進する事業を実施することや、まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業については、国が地方創生の政策分野として示す①しごとづくり、②人の流れ、③結婚・出産・子育て、④まちづくりに沿った4つの重点事項を抜き出した「舞鶴版総合戦略」を策定するものなどの答弁がありました。

討論では、反対の立場から、政府のいう地方創生は、人口減少への危機感をあおり、公共施設の集約化や地域医療機関の再編などにより、行政サービスが

縮小され、民間参入とその利益が優先されることにより、住民福祉の重大な後退をもたらすものであることから賛成できないとの意見がありました。

一方、賛成する立場からは、舞鶴市が全国に先駆けて地方創生に地域一丸となつて取り組もうとするそのスピード感を評価するとともに、各事業を連動させ、より一層効果が上がるように連携して取り組まれることを期待するという意見。

また、27年度予算と連動した地方創生先行型の事業は、人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、舞鶴独自の活性を目指す「舞鶴版地方創生」を積極的に推進するものであり、期待するという意見がありました。

次に、平成27年度舞鶴市一般会計予算では、質疑で、公式ウェブ

ブサイトリニューアル事業として、市のホームページのシステムを、セキュリティの高いものに全面改修するとともに、動画配信などを行い、タイムリーかつ効果的な情報発信を図りたいとする答弁がありました。

また、海外引揚70周年記念事業については、記念式典を10月に実施したいと考えていることや、地方創生拠点整備事業として、赤れんがパーク周辺から潮路通りにかけての「赤れんが」「海・港」一帯を整備するための検討会議を設置し、まちづくり基本構想を策定することについての説明がありました。

また、教育分野では、夢チャレンジサポート事業として、学習サポートを各中学校区に配置し、学力の充実に向上を図ることなどについて答弁がありました。

討論においては、反対の立場から、公的病院が取り組むセンター機能高度化を推進する事業に支援を行う「舞鶴市地域医療連携機構事業費等補助金」は、本来、医療機器の購入については経営母体が責任を持つべきであり賛成できないとの意見や、夢チャレンジサポート事業と特色ある教育環境づくり支援事業の内容は学力向上が中心となつているが、教育は学力だけが全てではなく、教員の増員などの環境整備にこそ力を入れるべきであるという意見がありました。

次に、賛成の立場から、公式ウェブサイトをリニューアル事業について、市ホームページ運用システムの全面更新により、市政のPR促進を期待するという意見や、海外引揚70周年記念事業は、引揚記念館の全面改修と相

まってユネスコ世界記憶遺産への登録など、舞鶴市の発展に大きな効果をもたらすもので、賛成するとの意見。

また、この27年度予算は、定住人口の減少を抑制するとともに、交流人口300万人、経済人口10万人のまちづくりを進めるための積極的な予算編成であり、評価するとの意見がありました。

経済消防委員会

消防団員の出勤手当を引き上げ

舞鶴市消防団条例の一部を改正する条例制定については、消防団員の処遇の改善を図るため、団員の各種出勤手当の額を改めるもので、平成27年4月1日から施行するとの説明がありました。

また、加佐地域大庄屋上野家条例の一部を改正する条例制定については、加佐地区農業・

農村活性化戦略事業に重点的に取り組むため、現地窓口を開設し、そこに常駐する市のスタッフにより効率的な施設管理を行うものであるとの説明があったほか、舞鶴市働く場の創出企業立地促進条例の一部を改正する条例制定については、中小企業を含めた市内既存企業の投資拡大を支援し、働く場のさらなる創出を実現するため、市内に事業所を有する企業に限って投下固定資産などに対する要件を引き下げるなどの答弁がありました。



本会議において、付託された議案を5常任委員会において、審査しました。民生環境委員会（付託議案11件）、建設委員会（付託議案6件）、総務文教委員会（付託議案9件）

**民生環境委員会、建設委員会、総務文教委員会の審査報告**

**民生環境委員会**

**介護保険料率に係る所得階層区分を変更**

舞鶴市介護保険条例の一部を改正する条例制定については、介護保険法施行令の改正に伴い、介護保険料率の所得階層区分を改めるとともに、介護保険法において新たに創設された「介護予防・日常生活支援総合事業」の実施の猶予について定めるなどの改正を行うものであり、平成27年4月1日から施行し、「総合事業」については、平成29年3月31日まで猶予することなどの説明がありました。

また、舞鶴市国民健康保険条例の一部を改

**建設委員会**

**水道事業審議会を設置**

舞鶴市水道事業審議会条例制定については、今後の水道事業の運営や水道ビジョンの推進に当たり、学識経験者や水道使用者の意見を取り入れるため水道事業審議会を設置することとし、その組織、運営などについて定めるものであるとの説明がありました。

質疑において、水道事業の健全な経営を行う上で、効率的、効果的な事業運営は必要不可欠であることから、審議会を設置して様々な助言や意見などをお聞きし、事業に役立てていきたいとの答弁がありました。

また、舞鶴市水道事業の設置に関する条例の一部を改正する条例制定については、平成15年度から設置していた水道事業管理者を平成27年4月1日から

置かないこととするための規定の整備であり、今後は、水道事業の管理者は市長になるとの説明がありました。

**総務文教委員会**

**保健福祉部を「福祉部」と「健康・子ども部」に改編**

舞鶴市教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例制定について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により、教育委員長と教育長を一本化した「新たな教育長」の職務専念義務の免除について定めるとの説明がありました。

また、舞鶴市の特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例制定については、平成26年度に引き続き、特別職の給料月額などの減額措置を27年度においても実施することや、水道事業管理者および

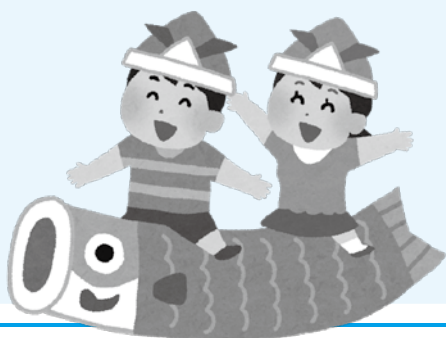
病院事業管理者を置かないことに伴う規定を整理するとの説明がありました。

質疑において、水道事業については、有路補助取水施設などの大きな事業が完了し、舞鶴市水道ビジョンの策定や危機管理対応マニュアルなどを整備したこと。また、病院事業については、昨年新たな病院となり、経営も一定軌道に乗ってきたことから、両事業管理者の設置を廃止するなどの答弁がありました。

次に、舞鶴市組織及び分掌事務に関する条例の一部を改正する条例制定では、指導検査室を総務部に編入し、保健福祉部を「福祉部」と「健康・子ども部」とし、それぞれの分掌事務を定めるとの説明がありました。

質疑において、「健康・子ども部」については、子どもからお年

寄りまでの健康づくり、また、中丹地域医療再生計画に基づく地域医療の充実・強化、そして、新しい子育て交流施設や「うみべのもり保育所」の開設など、子育て環境の充実を図り、市民サービスの向上につなげるため、新設するとの答弁がありました。



3月27日の最終本会議において、提案された議案に対して各会派が討論をしました。

討

論

### 新市民病院は補助金ありきか



鶴翔会議員団  
井上孝空

今期定例会に上程された議案のうち、第6号議案「平成27年度舞鶴市病院事業会計」には反対の立場を表明し討論する。予算書の病院事業収益を見ると、新市民病院の経営は一般会計からおよそ2億5千万円の補助がなければ成り立たない状態である。平成24年5月に示された試算表では、平成27年度には赤字額が9700万円まで減少するとされていたのに対し、実際は2億5千万円もの赤字予算で

あること、建設に伴う企業債の返済が始まる平成31年度からは、さらに厳しくなる状況を鑑みると病院経営はさらに厳しくなるものと考ええる。これまでも、おそらく長期にわたり毎年3億円程度の赤字が続くであろうと指摘をしてきたが、まさにその傾向が見える。今後は、しっかりとした経営のありかたを示し、収支見通しについて確かな説明が求められる状況下でありながら、それが担保されない中で予算には理解に苦しむ、よって、第6号議案には反対する。



新市民病院は補助金ありきか

あること、建設に伴う企業債の返済が始まる平成31年度からは、さらに厳しくなる状況を鑑みると病院経営はさらに厳しくなるものと考ええる。これまでも、おそらく長期にわたり毎年3億円程度の赤字が続くであろうと指摘をしてきたが、まさにその傾向が見える。今後は、しっかりとした経営のありかたを示し、収支見通しについて確かな説明が求められる状況下でありながら、それが担保されない中で予算には理解に苦しむ、よって、第6号議案には反対する。

### 「地方創生」と連動した地域活性化策を



輝進クラブ議員団  
鯛慶一

今3月定例会に上程された全議案に対し承認・賛成する。

第41号議案、平成26年度一般会計補正予算は、国の「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、「地方創生」と連動した地域経済の活性化策など、本市活性化に必要な施策の補正予算であり、その事業効果を期待する。

第4号議案、平成27年度一般会計予算において、交流人口300万人・経済人口10万人の実現に向けて、「新たな舞鶴市総合計画・後期実行



舞鶴赤れんがパーク

計画」をもとに「舞鶴版地方創生」を推し進められ、その戦略に基づく事業の推進や施策の展開をさらに加速していただきたい。

第6号議案、平成27年度舞鶴市病院事業会計予算では、市内の急性期医療を担う公的病院との連携強化を図られ、交通アクセスの確保など、地域医療の充実に努めていただきました。他の議案では、関係法令の改正等に伴う条例改正や、条例制定で、行政運営や、事務の適正な執行に必要であり賛成する。

### 市独自の支援策で市民負担軽減を



日本共産党議員団  
伊田悦子

45議案のうち7議案反対。残る議案は賛成。一般会計予算案では、緊急時のよりどころ「夏期・歳末くらしの資金貸付事業」を廃止。「老人医療助成費」が26年度予算に比べ、7640万円減額。京都府の制度改悪の影響からくる高齢者への負担増。京都府に制度の継続を求めるとも、市独自の負担軽減策も検討しない。このような冷たい姿勢は賛成できない。

公的責任発揮し医療守れ  
市民病院事業会計予算案は、医師確保の見通しが不明と、市が責任を明らかにしてい



新しい舞鶴市民病院

ない。地域医療に対する公的責任が発揮されないことから反対。

国民健康保険・介護保険事業会計予算案は、共通して市独自でも負担の軽減をとという考え方はなく反対。

舞鶴市病院事業に係る使用料、手数料などに關する条例の一部を改正する条例は、根拠のない新たな負担増。地域医療連携機構に休日急病診療所を指定管理することは、市の救急医療に対する責任放棄の姿勢。よって反対。



## 舞鶴版地方創生で活力



公明党議員団  
松田弘幸

公明党議員団を代表し、今3月定例会の全ての議案に賛成し討論する。平成26年度舞鶴市一般会計補正予算で、原子力災害対策施設緊急整備事業は、原子力災害時に即時避難が困難な大浦地域の住民の生命と健康を守るための大浦会館の対策工事などであるが、大浦会館の避難には道路が狭い、一路線しかないなど課題がある。早期の複数路線の確保と道路改修が必要である。

プレミアム付商品券の発行は、消費の喚起、地域経



大浦会館

済の活性が図れる。平成27年度予算は、国の地方創生に係る平成26年度補正予算と連動させた「舞鶴版地方創生」の予算編成を行った。「心豊かに暮らせるまちづくり」は、このふるさと舞鶴の豊かな自然を守り・生かしながら、子育て・教育・医療・福祉などさまざまな環境の充実を図り、安定した働く場の確保、若い世代のライフプランに係る希望の実現、時代に合った暮らしやすい地域づくりを推し進める施策である。

## 27年度舞鶴版地方創生積極予算を評価



創政クラブ議員団  
尾関善之

今3月定例会に上程された全議案に賛成する。

多々見市政1期目に取り組まれた施策は、まちづくりに対する強い信念のもと、「住んでよし、働いてよし、訪れてよしの、選ばれるまちづくり」に向けて、強固な基礎固めとして、これまでにな

い発想で矢継ぎ早に数多く打ち出された。今回、国の施策を先取りして、国が新たに創設した地方創生に係る予算を有効活用して、「舞鶴版地方創生」の実現に向けて、力強くスタートを切る予算として、

高く評価する。  
活力あるまちづくり

プレミアム付商品券の発行による地域消費の喚起と地域経済の活性化、農林水産業の振興、観光戦略拠点の開発・機能強化、基本的都市基盤の整備・促進などが打ち出され、定住人口の減少を抑制するとともに、交流人口のさらなる拡大を目指し、交流人口300万人・経済人口10万人のまちづくりを進め、定住人口10万人に匹敵する予算編成であり、大いに評価する。



舞鶴版地方創生の実現に向けて

## 舞鶴版地方創生展開で活力ある舞鶴を



新政クラブ議員団  
福村暉史

3月定例会に提案された第1号・2号議案は承認、第4号議案から第46号議案の全議案に賛成する。多々見市長は、1期目の実績を基盤として、今後4年間の進むべき方向を見据え、「舞鶴版地方創生」の基本を本市の特色ある歴史、文化、豊かな自然などの魅力、地域資源を最大限に生かして、「心豊かに暮らせるまちづくり」、「安心のまちづくり」、「活力あるまちづくり」を進め、「交流人口300万人」、「経済

人口10万人」都市を指して積極的な予算を組まれており、高く評価する。

平成27年度事業予算の執行については、平成26年度補正予算の「地方創生先行型推進事業」として先行的に実施される「まち・ひと・しごと創生総合戦略策定事業」、「自衛隊と連携した地域資源の観光ブランド化事業」、「道の駅観光戦略拠点化事業」などの事業予算とうまく連動し、一層の効果が上がるように、各セクションが連携して取り組んでいただくよう要望し、賛成する。



積極的な予算を高く評価

2月27日・3月27日の本会議での議案採決の結果は、次のとおりです。  
この採決結果は、「押しボタン式投票」で行ったものです。  
舞鶴市議会のホームページでも公表しています。

(平成27年3月定例会)

会期: 2月20日～3月27日

### 全会一致で可決した条例議案

- 舞鶴市教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例制定について
- 舞鶴市教育長の給与等に関する条例制定について
- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定について
- 舞鶴市の特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市行政手続条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市手数料条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市組織及び分掌事務に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市債権管理条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市消防団条例の一部を改正する条例制定について
- 加佐地域大庄屋上野家条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市働く場の創出企業立地促進条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市西地区多機能施設条例制定について
- 舞鶴市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例制定について
- 舞鶴市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例制定について
- 舞鶴市地域包括支援センター運営協議会条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市介護保険条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法等に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市水道事業審議会条例制定について
- 舞鶴市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 舞鶴市議会委員会条例の一部を改正する条例

### 全会一致で可決した意見書議案

中途失聴者・難聴者に対する公職選挙のバリアフリーを求める意見書（案）

可…可決、否…否決、同…同意、承…承認、認…認定、認可…認定及び可決、採…採択、不…不採択、○…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥、棄…棄権

林三弘	山本治兵衛	今西克己	上野修身	岸田圭一郎	福村暉史	眞下隆史	和佐谷寛	上羽和幸	小谷繁雄	杉島久敏	松田弘幸	石束悦子	伊田悦子	小杉悦子	後野和史	井上孝空	亀井敏郎	松岡茂長	鯛慶一	西村正之	水嶋一明	議決をした日
創政	創政	新政	新政	新政	新政	新政	新政	公明	公明	公明	公明	共産	共産	共産	共産	鶴翔	鶴翔	鶴翔	輝進	輝進	輝進	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	2月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	3月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	3月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	3月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	3月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	3月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	3月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	3月27日
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	3月27日

輝進…輝進クラブ議員団 ☆舞鶴市議会の議員定数は 28 人です。

# 議案の採決結果

## 全会一致で可決した予算議案

- 平成 27 年度舞鶴市水道事業会計予算
- 平成 27 年度舞鶴市簡易水道事業会計予算
- 平成 27 年度舞鶴市土地建物造成事業会計予算
- 平成 27 年度舞鶴市貯木事業会計予算
- 平成 27 年度舞鶴市駐車場事業会計予算
- 平成 27 年度舞鶴市後期高齢者医療事業会計予算
- 平成 26 年度舞鶴市一般会計補正予算（第 7 号）
- 平成 26 年度舞鶴市病院事業会計補正予算（第 1 号）
- 平成 26 年度舞鶴市国民健康保険事業会計補正予算（第 3 号）
- 平成 26 年度舞鶴市簡易水道事業会計補正予算（第 2 号）
- 平成 26 年度舞鶴市下水道事業会計補正予算（第 2 号）
- 平成 26 年度舞鶴市介護保険事業会計補正予算（第 3 号）



## 全会一致で承認・可決・同意したその他の議案

- 専決処分の承認を求めることについて  
(都市公園の管理瑕疵による自動車損傷事故に係る損害賠償の額の確定（専決第 1 号）)
- 専決処分の承認を求めることについて  
(都市公園の管理瑕疵による自動車損傷事故に係る損害賠償の額の確定（専決第 2 号）)
- 訴えの提起について
- 辺地に係る公共的施設総合整備計画の変更について
- 市道路線の変更について
- 教育委員会委員の任命について
- 固定資産評価員の選任について
- 固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 人権擁護委員候補者の推薦について

## 【賛否が分かれた議案】

議案名	議員名簿等（会派内は五十音順）						議決結果	伊藤清美 創政	尾関善之 創政	肝付隆治 創政	桐野正明 創政	高橋秀策 創政	谷川眞司 創政
	出席者数	投票者総数	賛成	反対	棄権								
基本構想を実現するための実行計画の策定について	28	27	23	4	0	可	○	○	○	議長は裁決に加わりません	○	○	
平成27年度舞鶴市一般会計予算	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○	
平成27年度舞鶴市病院事業会計予算	28	27	20	7	0	可	○	○	○		○	○	
平成27年度舞鶴市国民健康保険事業会計予算	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○	
平成27年度舞鶴市介護保険事業会計予算	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○	
舞鶴市病院事業に係る使用料、手数料等に関する条例の一部を改正する条例制定について	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○	
指定管理者の指定について(舞鶴市休日急病診療所)	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○	
平成26年度舞鶴市一般会計補正予算(第7号)	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○	
舞鶴市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	28	27	23	4	0	可	○	○	○		○	○	
副市長の選任について	28	27	23	4	0	同	○	○	○		○	○	
教育長の任命について	28	27	23	4	0	同	○	○	○		○	○	

## 意見書、原子力防災・安全等調査特別委員会の活動、定例会予定

### 意見書

3月定例会では、「中途失聴者・難聴者に対する公職選挙のバリアフリーを求める意見書」1件を可決

要旨は、次のとおりです。

現在の公職選挙法並びに関係法令では、参政権の最も大切な政見放送での字幕の挿入や個人演説会での要約筆記が保障されているとは言えないのが現状である。

平成26年1月に批准された「障害者の権利に関する条約」の第2条において、「意思疎通」とは、言語、文字の表示、点字、触覚を使った意思疎通、拡大文字、利用しやすいマルチメディア並びに筆記、音声、平易な言葉、朗読その他の補助的及び代替的な意思疎通の

形態、手段及び様式(利用しやすい情報通信機器を含む。)と定義されている。

こうしたことから、公職選挙においても、手話と要約筆記は、「情報の保障」「聞こえの保障」であり、そのバリアフリー化の対応が求められている。よって、国におかれては、左記事項が実施できるよう公職選挙法並びに関係法令を速やかに改正されるよう強く要望する。

#### 記

- 1 政見放送における手話通訳と同時に字幕を挿入すること。
- 2 個人演説会において手話や要約筆記が利用しやすい環境を整えること。

### 原子力防災・安全等調査特別委員会の活動

関西電力高浜発電所の調査視察を実施

ました。

平成27年3月6日に、委員全員で高浜発電所原子力防災・安全等調査特別委員会が、関西電力株式会社高浜発電所の調査視察を実施し

委員全員で高浜発電所の安全対策への取り組みについて説明を受けた後、関連施設や現場の確認を行いました。



高浜発電所の現場で担当者から説明を受ける委員

### 6月定例会予定

- 6月2日(火)本会議(開会)
- 8日(月)請願受理締切
- 12日(金)本会議(一般質問)
- 15日(月)本会議(一般質問、質疑)
- 18日(木)予算決算委員会分科会・常任委員会
- 19日(金)予算決算委員会分科会・常任委員会
- 24日(水)予算決算委員会
- 29日(月)本会議(閉会)

※予定は変更することがあります。



議会を傍聴してみませんか

議会は誰でも傍聴することができます。

お問い合わせは  
市議会事務局へ ☎66-1060

